

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.257

Q.

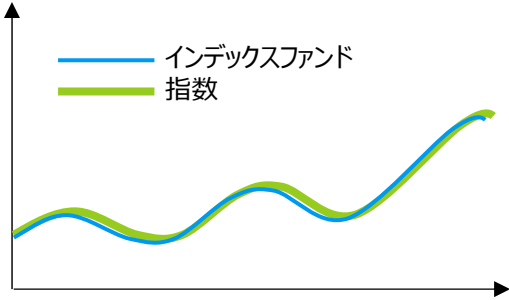
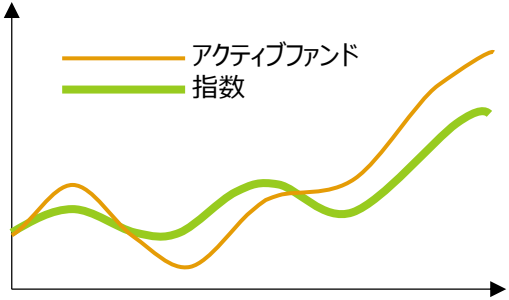
インデックスファンドとアクティブファンドの違いは何ですか？

A.

インデックスファンド*は特定の指数に連動することを目指し、アクティブファンドは指数を上回るリターンを目指します。自分の投資スタンスに合わせたファンドの選択ができます。

*この資料では一般的にアクティブファンドと対比されるパッシブファンドの代表格であるインデックスファンドを取り上げて説明しています。

- ◆ インデックスファンドは指数に連動することを目指すため、**低コスト**で投資初心者が資産運用を始めやすい選択肢となる一方、アクティブファンドはファンドごとに特徴があり、**より高いリターン**が期待される点が魅力的と言えます。自身のリスク許容度や投資目的、投資期間に応じて最適なファンドを選ぶことができます。

	インデックスファンド	アクティブファンド
推移のイメージ		
特徴	東証株価指数やS&P500種指数など、 特定の指数に連動することを目指す ファンドです。	運用プロフェッショナルによる市場分析や個別銘柄選択を通じて 指数を上回ることを目指す ファンドです。
リスクの傾向	指数の構成銘柄と同様に幅広い銘柄に投資することになるため、 リスクが分散され、市場全体の動きに連動したパフォーマンス が期待されます。	特定の銘柄やテーマを厳選して投資することが多く、 リスク・リターンが大きくなる傾向 にあります。
費用	銘柄の調査や分析といった運用プロセスがないため、一般的に 信託報酬が低く なります。	銘柄の調査や分析のコスト、取引頻度の高さなどから一般的に 信託報酬が高く なります。
こんな方におすすめ	• 指数に連動した値動きで、投資対象がわかりやすい投資をしたい。 • 投資対象を限定せずに市場全体へ投資したい。 • 注目している指数がある。	• 特定の銘柄やテーマに集中して投資し、市場平均を上回るリターンを目指したい。 • 応援したいテーマや戦略がある。 • 投資方針や考え方に共感できるファンドマネージャーがいる。



※上記は一般的な特徴を比較するものであり、すべてのファンドにあてはまるとは限りません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の各商品の説明書等を必ずご覧ください。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会